58 号　2023 年 5 月 14 日　ななやま緑地の会発行

TOPICS

ななやまで育った苗木

毎年、３月の多摩市グリーンボランティア初級講座は、苗木の植樹講習が行われます。その苗木のほとんどは、ななやまで育てられたものです。

ななやまの入口横には、縄で囲われた「苗の保育所」があり、実生の苗やドングリの種がポットに植えて育てられています。常に人の目があるので、水やりや草抜きなど手入れされて育ちます。２、３年して５０㎝ほどの高さになった苗は、講座用苗として、さまざまな場所に植樹されてきました。ここ数年は豊ヶ丘の斜面地に植樹されています。

ちいさな苗木はその年の夏、２ｍにもなるカヤやクズの蔓などに覆われてしまうため、環境は過酷です。中にはそれらに負けてしまう苗もあります。

その様な中、しっかり根を生やし立派に育った苗のために植樹地の管理計画表を作成し、年に２回、６月と１０月に補助活動として受講生を募り、草刈りなどの養生をしています。

１０、１５年して、直径１０センチほどの木になると、手鋸を使って、伐木講習で伐られます。伐られた木はホダ木となり、シイタケ菌のコマ打ち講習で使われます。また、残った切り株は萌芽更新しますので、モヤ分けの講習で活躍します。

このように、ななやまの苗木は、たくさんの受講生の方の技術向上に役立っています。これからも、苗たちを温かく見守っていただけたらと思います。（Ｉ田）

※植樹方法などは初級講座テキストをご参照ください。最新版（第 21 期）がななやまにあります。

苗木の保育所

３月の植樹の様子

カヤに囲まれながらしっかり育つクヌギ

豊ヶ丘斜面地　植樹場所

1月21日(土) 南鶴牧小学校のなな山観察会

午前中は、ソリ滑りの滑走路にクズ掃き（敷き）する作業から始まり、その後はソリ遊び、ターザンロープ、観察会をしました。昼食後は、シノダケ・ヒンメリ作りや丸太切り体験等盛りだくさんの観察会となりました。子どもたちの個性を感じることが出来る、コロナ禍ならではの和気あいあいの観察会となりました。

クズ掃きが終った

3月7日(火) 多摩めかいの会によるシノダケ林の手入れ

多摩めかいの会のメンバーによるシノダケ採取・ヒネづくりが2月中で終わり、なな山のシノダケ林を整備したいということで、相談して、中の山の東の山に近い場所を選んで、シノダケ林の手入れをしていただきました。今回手入れした区域にヒネ材を採れるようなシノダケが生えてくるのは、いつになるのか分かりませんが、楽しみにして待ちたいと思います。

先が見通せるようになったシノダケ

4月7日(金)「花めぐり友の会」自然観察会

花めぐり友の会の方々、7人がなな山の植物観察に見えました。事務局の方が植物に詳しいので、なな山からも5人が一緒に観察に同行させてもらうことになりました。今回は、興味深い話をいくつか聞くことが出来ました。コクランなどは、他の草との競争に負けることから、人が踏み荒らしたような通路の脇に出て来るそうです。タマノカンアオイの花は、種をつけるとアリなどを引き付けるにおいを出して、アリによって生息域を拡げているそうです。いろいろ学びの多い観察会となり、植物観察といっても興味の対象が違う人たちとの印象を持ちました。

チゴユリの観察

4月22日(土) 多摩市グリーンボランティア初級講座

なな山でグリーンボランティア初級講座が開催されました。受講生約30名、スタッフ約10名が来山。当会からは助っ人として、11名が参集しました。
阿部市長の挨拶のあと、公園緑地課から市内の公園・緑地の概要、なな山寄付の経緯、なな山緑地の概要、と話が続きます。その後、3班に分かれて「なな山めぐり」。なな山の植物や植生、里山保全の活動などを全山歩きながら話をしました。昼食を挟んで午後から座学、刈払機の講習、草刈り実習と盛り沢山。次の訪問地・和田緑地へ移動し、なな山での講座は無事終了しました。

なな山めぐりをする受講生

※イベントの詳細はブログで紹介しています。https://nanayamaryokuchi.blog.ss-blog.jp/

3月26日(日) 令和5年度総会が開催されました。

今年度の総会は、20名の方の参加があり、委任状19通と合わせて、総会の設立要件をとしては、36個人＋1団体の参加により成立しました。各議案については、活発な質疑応答のほか、様々な意見もいただきました。（詳細は議事録をご覧ください）
特に、活動計画（案）については、一部の方の反対もありましたが、いずれの議案も承認されました。

深めよう会員の絆　リレーエッセイ

福嶋　香織

部屋を片付けていたら、期限切れのパスポートがでてきた。証明写真の自分があまりに若すぎてビックリした。懐かしくなってパラパラとめくっていると、大きなスタンプのついた観光ビザが目にとまった。わざわざ在日大使館に行って取得したカンボジアの観光ビザだったが、結局行くことができなかった。

以前勤めていた職場に旅好きな同僚がいた。あちこち旅に行っては土産話を聞かせてくれた。近場のアジアを旅行したいと考えたていた私は、どこかお勧めの観光スポットはないか尋ねてみた。東南アジアにも詳しかった同僚のお勧めが、カンボジアの「アンコールワット」で、絶対に行くべきだと教えてくれた。

アンコールワット

「アンコールワット」は、カンボジア北西部の森林地帯に広がる巨大仏教遺跡群のひとつで、カンボジアの象徴として国旗にも描かれているほど有名な世界文化遺産。12 世紀に創建されたアンコール王朝の王都にしてヒンズー教の寺院である建物には、美しい壁画や彫像が施されており世界中の人々が訪れるという。何度か行ったことがあるという同僚の情報量に圧倒された私は、本屋さんでガイドブックを購入、とりあえず航空チケットとホテルを予約してしまった。朝焼けのアンコールワットは絶対に見る、タプローム（樹木に飲み込まれた建造物）や他の遺跡もたくさん回りたいからトゥクトゥク（三輪タクシー）を 1 日チャーターする、ローカルエリアのお店やレストランに行く、現地の人とも交流したいからクメール語（カンボジアの公用語）の簡単なあいさつは覚えよう、あれやこれやと準備段階からワクワクが止まらなかった。

一緒に行く予定の友人から、仕事の都合で行くことが出来ないと連絡が入った。出発まで 2 週間を切っていた。日本からカンボジアへの直行便はなく乗り継ぎ時間を含めると所要時間は 10 時間以上、現地ガイド付きとはいえ、一人で旅する勇気がなかった。行こうと決めてから断念するまでの感情がジェットコースターのようだったなとパスポートを見て笑ってしまった。

今は、おうちにいながらリアルタイムで旅先の景色や体験を共有する「オンライン体験ツアー」もできるようになった。旅のチャンスはまだまだある。

なな山の植物誌

ネジキ　捻木　ツツジ科

なな山の西の山の尾根にムラサキシキブ、ヤブムラサキなどに混じってネジキ も生えています。木肌が縦にさけてよじれている変わった木です。ネジキはツツジ科の落葉小高木で日当たりを好みます。新葉はやや赤みがあり互生です。

ネジキの花

冬芽　3 月 12 日なな山

花の咲くのは５月から６月で前年枝の葉腋から総状花序を出し白い花（壺状）を下向きに多数つけ鈴なり状態です。朔果は枝の上向きにつきます。ネジキは有毒植物です。秋深く紅葉し、綺麗ですが冬になると一年枝と冬芽の赤い色が美しいと好まれ日本三大美芽の一つとされています。因みに後の二つはザイフリボク、コクサギです。（名黒）

なな山日記（活動・観察記録）

No. 448　2023年 1月 8日(日)　晴　気温20℃

参加者　25名

穏やかな天候で山始めの神事で一年間の安全と会員の健康を祈願。青山学院の生徒さんも参加された。

● 作業/山始めの神事、落ち葉掃き、法面整理。

● 観察/コウバイ、ロウバイ。

No. 449　2023年 1 月22日(日)　晴　気温12℃

参加者　18名

1/15 に青少協第二地区のどんど焼きの際に材の協力をした。

● 作業/刈払い、側溝の溝さらい、落ち葉掃き、ツル植物の整理、イチゴの養生。

● 観察/ハクバイ、ホトケノザ。

No. 450　2023年 2月12日(日)　晴　気温　18℃

参加者　27名

希少植物の保護と里山管理との共存をどうしていくのか考える必要がある。

● 作業/ホダ木のためサクラの伐木、刈払い、植物養生、畑作業。

● 観察/アセビ、カワヅザクラのつぼみ。

No. 451　2023年2月26日(日)　晴　気温20℃

参加者　18名

本日も暖かな一日となった、総会の準備でざわざわしてるが、山は静かに花を咲かせている。

● 作業/東の山の篠竹間伐、畑作業、伐木整理、植物の養生。

● 観察/ウグイスカグラ、カワヅザクラ。

No. 452　2023年3月12日(日)　晴　気温　21℃

参加者　20名

全員で植物観察。シュンラン、コブシなどたくさんの花が咲いていた。

● 作業/東の山植物観察、里芋植付け、山の整理、机の補修。

● 観察/シュンラン、エドヒガン。

No. 453　2023年4月2日(日)　晴　気温19℃

参加者　15 名

先週の振替作業。午前中のみの活動となった。

● 作業/シイタケ、ナメコのコマ打ち、ジャガイモ手入れ、作物へ施肥。

● 観察/ヒゴスミレ、ヤマザクラ。

No. 454　2023年4月9日(日)　快晴　気温20℃

参加者　18名

全員で全倉庫の棚卸を行い、場所の確認と要・不用品の整理などできた。

● 作業/倉庫の棚卸（備品の確認、検品）植物観察、枯損木への立ち入り禁止区域の設置。

● 観察/キンラン、チゴユリ。

No. 455　2023年4月23日(日)　快晴　気温18℃

参加者16名

大勢の若者が参加した。活動に取り組む姿勢に感心。

● 作業/全山植物観察、ナラ枯れ調査、伐木検討、青山学院作業ガイダンス、スイカサツマイモ畝立。

● 観察/ヤマツツジ、セイショウ。

編集後記

「なな山だより」の製作に携わるようになって、今回で20回目となった。私には誰よりも先に皆さんの心のこもった文章を拝見し、感動できる特権がある。この文章や写真をきれいに配置をして見やすい原稿に仕上げたい！という気持ちになる。この「なな山だより」が後世に残るような会報にしていきたい。(A)

なな山だより　第58号　2023年　5月14日発行

発　　行　なな山緑地の会

発行責任者　中山 茂樹

住　　所　東京都多摩市和田 1336-1

ホームページ　https://nanayamaryokuti.jimdofree.com/

編集委員　鎌田 文雄　飯田 歩